

星野富弘 花の詩 展



2012年 2月11日(土)~2月19日(日)

【会 場】君津市生涯学習交流センターギャラリー (君津市久保 2-13-2)

【開催時間】9:00~19:00 ※11日は9:30開場 ※日曜日・祝日は17:00まで

【入 場 料】一般500円 高校生以下無料 障害者手帳提示の方無料

【関連企画】「星野富弘 詩の朗読会」「星野富弘 関連著書の展示」「友人星野富弘を語る」

主 催 / 君津市・社会福祉法人君津市社会福祉協議会・千葉県共同募金会君津市支会

後 援 / 君津市教育委員会・木更津市教育委員会・富津市教育委員会・袖ヶ浦市教育委員会・君津市校長会・君津市PTA連絡協議会

君津市青少年相談員連絡協議会・君津市文化協会・君津市退職校長会・きみつ母と女性教職員会の会・退職女性教職員会の会(房総の会)

NHK千葉放送局・テレビ千葉・株式会社千葉日報社・かすさエフエム株式会社

問い合わせ

君津市社会福祉協議会

☎0439(57)2250

Eメール:mail@kimitsu-shakyo.or.jp

HP:http://www.kimitsu-shakyo.or.jp/

(順不同)

友への手紙

字を書き始めてから四か月が過ぎて、なんとか念願の手紙が書けるようになり、生徒や姉や友だちに手紙を書いた。

一つの手紙に一週間もかかってしまうこともあったが、受けとった人たちは、私の想像を遥かにこえて大きくよるこび、折り返し返事をくれた。

なかには、額に入れてかざったという友だちもいた。

長い時間書きつづけると熱が出たが、つらいとは思わなかった。

病院から一步も出られない私だけれど、体力と精神のかぎりをつくして書いた文字は、文字というより、私の分身のような気がして、それが汽車に乗り、遠いところへ出かけていくのだと思いつつながら書いた。

(新版『愛、深き淵より』)



星野 富弘 プロフィール

- 1946年 群馬県勢多郡東村に生まれる
- 1970年 群馬大学教育学部保健体育科卒業
中学校の教諭になるがクラブ活動の指導
中頸髄を損傷、手足の自由を失う
- 1972年 病院に入院中、口に筆をくわえて文や
絵を書き始める
- 1979年 前橋で最初の作品展を開く
退院
- 1981年 雑誌や新聞に詩画作品や、エッセイを
連載

1982年 高崎で「花の詩画展」以後、全国各地で開かれた
「花の詩画展」は、大きな感動を呼ぶ

- 1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に村立富弘美術館開館
- 1994年 ニューヨークで「花の詩画展」
- 1997・2000年 ホノルルで「花の詩画展」
- 2001年 サンフランシスコ、ロサンゼルスで「花の詩画展」
- 2003年 ワルシャワ国立博物館で「花の詩画展」
- 2005年 (新)富弘美術館オープン
- 2006年 群馬県名誉県民
- 2010年 富弘美術館開館20周年 富弘美術館入館者600万人
- 2011年 群馬大学特別栄誉賞

現在も詩画や随筆の創作を続けながら、全国で「花の詩画展」を開いている

「著書」新版『愛、深き淵より。』『新編 風の旅』『かぎりなくやさしい花々』
「鈴の鳴る道」「銀色のあしあと(三浦綾子氏との対談)」「速さのちがう時計」「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「山の向こうの美術館」「たった一度の人生だから(日野原重明氏との対談)」「ことばの雫」「風の詩」「種蒔きもせず」

関連企画

【友人星野富弘を語る】

2月11日(土)13:30~
会場 生涯学習交流センター

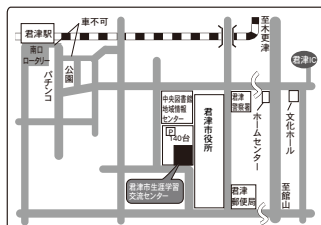
【詩の朗読会】

- 1回目 2月11日(土)11:00~12:00
 - 2回目 2月15日(水)10:30~11:30
 - 3回目 2月19日(日)11:00~12:00
 - 4回目 2月19日(日)13:30~14:30
- 会場 生涯学習交流センター

【ビデオ放映】 (1本25分)
詩画展開催期間中随時

【星野富弘 関連著書の展示】

平成24年1月5日(木)
~2月29日(水)
会場 君津市立中央図書館



あなたにもこの感動を伝えたい!

